

インフォメーション

(株)タテシ広美社

災害情報表示・音声システムが京都消防局に採用
大型LEDパネル表示設備が出雲ドームに設置

看板や電光掲示板などを扱う(株)タテシ広美社(立石克昭社長 河南町)は、LED(発光ダイオード)を使った災害情報表示・音声システムを開発し、京都消防局などに採用された。この商品は、昨年12月に同社が京都消防局から依頼を受けて開発したもの。これまでの災害情報は、事前に録音が必要だったが、今回はパソコンに入力した情報を電光掲示板に文字表示させるのと同時に自動で音声でも流すことができる。

京都消防局と京都市役所から情報を送る仕組みになっており、災害などの緊急時以外は、地域の情報やイベントのお知らせなど、写真や動画などをカラー表示できる。現在、京都市役所前に設置しており、今後5月末には京都駅の中央広場にも設置される予定。

今回の開発にあたり、同社の立石社長は「災害時は、災害や避難情報などをいかに早く発信するかが重要です。同システムは、東北関東大震災の発生後に設置されたこともあり、新たな災害情報発信として注目されています。また、操作パソコン上で電光掲示板の表示状況や機器の異常も確認できるため、離れた場所からでも安心して管理できる仕組みになっています」と話された。

また、同様のシステムを使って同時に開発した大型LED表示設備が、出雲ドーム(島根県出雲市)に設置された。出雲ドームは平成4年にオープン後、人工芝グラウンドや客席を備え、天候に左右されずに使用できる多目的施設として、利用者は年間10万人以上。スポーツ大会のスコアやイベント時のメッセージ表示などに利用されていた表

示設備の老朽化が進み、昨年9月に故障したため新たに導入された。事前に動画を取り込むことで、カラーでのアニメーション表示などが可能になった。

いずれも詳しくは、同社(Tel43-4886)へ。



▲京都市役所前に設置された災害情報表示・音声システム



▲大型LEDパネル表示設備(出雲ドーム)